



平成23年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成22年7月30日

上場会社名 ペガサスミシン製造株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6262 URL <http://www.pegasus.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 清水 盛明
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 舟引 康之 TEL (06)6451-1351
 四半期報告書提出予定日 平成22年8月10日 配当支払開始予定日 _____
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年3月期第1四半期の連結業績 (平成22年4月1日～平成22年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益
	百万円 %	百万円 %	百万円 %	百万円 %
23年3月期第1四半期	3,193 72.9	59 —	71 —	△32 —
22年3月期第1四半期	1,846 △44.1	△218 —	△188 —	△59 —

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年3月期第1四半期	△1 41	— —
22年3月期第1四半期	△2 62	— —

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年3月期第1四半期	19,521	10,136	50.2	427 43
22年3月期	18,222	10,110	53.7	426 89

(参考) 自己資本 23年3月期第1四半期 9,806百万円 22年3月期 9,793百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年3月期	—	0 00	—	0 00	0 00
23年3月期	—	—	—	—	—
23年3月期(予想)	—	0 00	—	—	—

(注) 1. 当四半期における配当予想の修正有無 : 無

2. 23年3月期の期末配当予想は未定であります。

3. 平成23年3月期の連結業績予想 (平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円 %	百万円 %	百万円 %	百万円 %	円 銭
第2四半期(累計)	5,820 51.6	130 —	100 —	0 —	— —
通期	11,390 42.6	430 —	350 —	80 —	3 49

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 : 無

4. その他（詳細は、【添付資料】P.3「2. その他の情報」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 : 無

新規 一社（社名 ）、除外 一社（社名 ）

（注）当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 : 有

（注）簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理への適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 : 有

② ①以外の変更 : 無

（注）「四半期連結財務諸表のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

23年3月期1Q	23,676,000株	22年3月期	23,676,000株
23年3月期1Q	733,330株	22年3月期	733,330株
23年3月期1Q	22,942,670株	22年3月期1Q	22,936,670株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- ・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）2ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。
- ・23年3月期の期末配当予想額につきましては、業績の状況や経営環境の先行きが不透明であることから、今後業績動向を見極めつつ検討することとしており、現時点で未定であります。配当予想額の開示が可能となった時点で速やかに開示いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	1
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	1
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	1
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. その他の情報	3
(1) 重要な子会社の異動の概要	3
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	3
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	3
(4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書	5
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	6
(4) 継続企業の前提に関する注記	7
(5) セグメント情報	7
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間における日本経済は、アジア向けを中心とした輸出が堅調であることに加え、企業収益の回復を背景とした設備投資の持ち直しなどにより、緩やかな景気回復傾向が持続いたしました。世界経済も、景気対策の効果に加えて在庫調整の進展などによって、拡大傾向が続きました。一方で、雇用低迷、住宅市場の冷え込みなどにより、米国の景気回復に陰りがみられるほか、ギリシャに端を発した金融問題はユーロ圏のみならず、世界経済全体への影響が懸念されるなど、先行きへの不安要因も指摘されております。

工業用ミシン業界におきましては、欧米での衣料品の在庫調整の進展や好調なアジア経済に支えられ、当社製品の主要市場であります中国やその他アジアの縫製メーカーの設備投資意欲が回復し、続いてアジア以外の地域におきましても、縫製メーカーの設備投資が持ち直してまいりました。

このような環境のもとで、当社企業グループは急回復した顧客ニーズに対応すべく増産に注力するとともに、引き続き販売体制の強化やコストダウンにも努めた結果、当第1四半期連結会計期間の売上高は31億93百万円（前年同四半期比72.9%増）となり、営業利益は59百万円（前年同四半期は営業損失2億18百万円）、経常利益は71百万円（前年同四半期は経常損失1億88百万円）、四半期純損失は32百万円（前年同四半期は四半期純損失59百万円）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

（工業用ミシン）

工業用ミシンにつきましては、欧米での衣料品の在庫調整の進展や好調なアジア経済に支えられ、縫製メーカーの設備投資意欲が回復し、売上高29億48百万円、営業利益2億32百万円となりました。

（ダイカスト部品）

ダイカスト部品につきましては、顧客から品質面において高い評価を頂いており、売上高2億39百万円、営業利益41百万円となりました。

（その他）

その他につきましては、コンピュータソフト及びそれらの技術・サービスの開発・販売を行っており、売上高5百万円、営業損失0百万円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①財政状態の分析

（資産）

流動資産は、前連結会計年度末に比べて14億7百万円増加し、143億69百万円となりました。これは、現金及び預金が6億98百万円、受取手形及び売掛金が9億2百万円それぞれ増加したことなどによります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて1億8百万円減少し、51億51百万円となりました。これは、有形固定資産が49百万円、投資その他の資産が59百万円それぞれ減少したことなどによります。

この結果、総資産は前連結会計年度末に比べて12億99百万円増加し、195億21百万円となりました。

（負債）

流動負債は、前連結会計年度末に比べて13億40百万円増加し、68億78百万円となりました。これは、支払手形及び買掛金が11億21百万円増加したことなどによります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて67百万円減少し、25億6百万円となりました。これは、長期借入金が89百万円減少したことなどによります。

この結果、負債合計は前連結会計年度末に比べて12億73百万円増加し、93億85百万円となりました。

（純資産）

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて25百万円増加し、101億36百万円となりました。これは、為替換算調整勘定が56百万円増加し、利益剰余金が32百万円減少したことなどによります。

②連結キャッシュ・フローの状況

現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ6億94百万円増加し、54億45百万円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益が23百万円であり、仕入債務の増加11億3百万円、たな卸資産の減少2億24百万円、減価償却費98百万円、売上債権の増加8億70百万円などにより、5億53百万円の収入となりました。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得による支出24百万円、投資不動産の賃貸による収入9百万円などにより、12百万円の支出となりました。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動によるキャッシュ・フローは、有利子負債の純増加額1億49百万円により、1億49百万円の収入となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成22年5月14日に公表いたしました連結業績予想から修正は行っておりません。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

簡便な会計処理を適用しておりますが、重要性が乏しいため記載を省略しております。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

（資産除去債務に関する会計基準の適用）

当第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」（企業会計基準第18号 平成20年3月31日）及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日）を適用しております。

これによる、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響はありません。

(4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成22年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,828,736	5,130,449
受取手形及び売掛金	3,125,038	2,222,744
商品及び製品	1,508,996	1,881,662
仕掛品	518,697	576,566
原材料及び貯蔵品	3,170,538	2,957,233
その他	235,709	214,065
貸倒引当金	△18,092	△20,184
流動資産合計	14,369,624	12,962,536
固定資産		
有形固定資産	4,101,123	4,150,337
無形固定資産	350,975	350,748
投資その他の資産	699,897	758,930
固定資産合計	5,151,997	5,260,017
資産合計	19,521,622	18,222,554
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,502,895	381,042
短期借入金	3,851,860	3,710,892
未払法人税等	171,418	149,733
賞与引当金	61,311	83,514
その他	1,291,417	1,213,573
流動負債合計	6,878,904	5,538,755
固定負債		
社債	657,000	657,000
長期借入金	1,015,064	1,105,017
退職給付引当金	223,865	212,990
役員退職慰労引当金	1,761	1,444
その他	608,764	597,024
固定負債合計	2,506,455	2,573,475
負債合計	9,385,359	8,112,231
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,903,550	1,903,550
資本剰余金	2,049,873	2,049,873
利益剰余金	7,115,426	7,147,767
自己株式	△291,473	△291,473
株主資本合計	10,777,376	10,809,717
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△29,150	△17,298
為替換算調整勘定	△941,779	△998,484
評価・換算差額等合計	△970,930	△1,015,782
少数株主持分	329,817	316,388
純資産合計	10,136,262	10,110,322
負債純資産合計	19,521,622	18,222,554

(2) 四半期連結損益計算書

【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)
売上高	1,846,529	3,193,137
売上原価	1,266,254	2,308,837
売上総利益	580,275	884,299
販売費及び一般管理費	799,032	824,637
営業利益又は営業損失（△）	△218,757	59,662
営業外収益		
受取利息	13,860	11,961
受取配当金	3,545	3,695
不動産賃貸料	14,111	9,974
デリバティブ評価益	43,835	43,498
助成金収入	27,742	3,681
その他	1,212	5,474
営業外収益合計	104,308	78,286
営業外費用		
支払利息	36,749	29,802
為替差損	33,702	34,387
その他	3,369	1,957
営業外費用合計	73,821	66,148
経常利益又は経常損失（△）	△188,270	71,800
特別利益		
固定資産売却益	203,598	150
保険解約返戻金	8,174	—
貸倒引当金戻入額	131	1,385
特別利益合計	211,904	1,535
特別損失		
固定資産除売却損	4,957	3,620
投資有価証券評価損	—	46,056
ゴルフ会員権売却損	416	—
ゴルフ会員権評価損	830	—
退職特別加算金	30,998	—
特別損失合計	37,202	49,676
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失（△）	△13,568	23,658
法人税、住民税及び事業税	36,044	44,889
法人税等調整額	12,760	1,132
法人税等合計	48,805	46,021
少数株主損益調整前四半期純損失（△）	—	△22,362
少数株主利益又は少数株主損失（△）	△2,392	9,978
四半期純損失（△）	△59,981	△32,341

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失 (△)	△13,568	23,658
減価償却費	111,240	98,917
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△7	△1,385
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	8,556	10,875
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△2,560	317
デリバティブ評価損益 (△は益)	△43,835	△43,498
受取利息及び受取配当金	△17,405	△15,656
支払利息	36,749	29,802
為替差損益 (△は益)	△37,921	△71,321
受取賃貸料	△14,111	△9,974
固定資産除売却損益 (△は益)	△198,641	3,469
投資有価証券評価損益 (△は益)	—	46,056
保険解約損益 (△は益)	△8,174	—
売上債権の増減額 (△は増加)	△71,660	△870,034
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△56,068	224,683
仕入債務の増減額 (△は減少)	203,258	1,103,229
未払金の増減額 (△は減少)	△760,991	72,809
その他	57,344	△18,820
小計	△807,798	583,128
利息及び配当金の受取額	18,100	13,147
利息の支払額	△24,878	△25,809
法人税等の支払額	△21,823	△17,140
営業活動によるキャッシュ・フロー	△836,400	553,325
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の払戻による収入	293,025	—
有形固定資産の取得による支出	△92,009	△24,350
有形固定資産の売却による収入	504,703	1,114
投資不動産の賃貸による収入	14,111	9,974
その他	7,232	278
投資活動によるキャッシュ・フロー	727,063	△12,983
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	167,990	225,000
長期借入れによる収入	600,000	100,000
長期借入金の返済による支出	△329,259	△175,113
株式の発行による収入	800	—
その他	△103	△108
財務活動によるキャッシュ・フロー	439,427	149,778
現金及び現金同等物に係る換算差額	182,602	4,455
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	512,692	694,577
現金及び現金同等物の期首残高	3,957,094	4,751,255
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,469,786	5,445,832

(4) 継続企業の前提に関する注記

当第1四半期連結累計期間（自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日）
該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【所在地セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日）

	日本 (千円)	中国 (千円)	その他の アジア (千円)	米州 (千円)	欧州 (千円)	計 (千円)	消去 又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高								
(1) 外部顧客に 対する売上高	146,775	782,588	610,982	156,910	149,272	1,846,529	—	1,846,529
(2) セグメント間の 内部売上高又は 振替高	664,624	451,466	16,268	—	64	1,132,425	(1,132,425)	—
計	811,399	1,234,055	627,251	156,910	149,337	2,978,955	(1,132,425)	1,846,529
営業利益又は 営業損失（△）	△311,765	25,030	△47,820	△15,473	659	△349,369	130,612	△218,757

【セグメント情報】

(追加情報)

当第1四半期連結会計期間より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」（企業会計基準第17号 平成21年3月27日）及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日）を適用しております。

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社企業グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社企業グループは、製品・サービス別の製造販売体制を置き、取り扱う製品・サービスについて全世界を対象とした包括的な戦略を立案し、事業展開しております。

従って、当社企業グループは製造販売体制を基礎とした製品・サービス別のセグメントから構成されており、「工業用ミシン」、「ダイカスト部品」の2つを報告セグメントとしております。

「工業用ミシン」は、主にニット衣料等の縫製に使用される環縫いミシンの製造販売をしております。「ダイカスト部品」は、自動車用安全ベルト関連部品をはじめとするダイカスト部品の製造販売をしております。

2. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第1四半期連結累計期間（自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日）

（単位：千円）

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 3
	工業用ミシン	ダイカスト部品	計				
売上高							
外部顧客への売上高	2,948,575	239,202	3,187,778	5,359	3,193,137	—	3,193,137
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	3,782	3,782	△ 3,782	—
計	2,948,575	239,202	3,187,778	9,141	3,196,919	△ 3,782	3,193,137
セグメント利益又は損失（△）	232,206	41,557	273,763	△ 312	273,451	△ 213,789	59,662

（注） 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、コンピュータソフト及びそれらの技術・サービスの開発・販売事業を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失（△）の調整額△213,789千円には、セグメント間取引消去13千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△213,802千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 セグメント利益又は損失（△）は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。